ふみこのチャレンジ通信

発行　山下ふみこ後援会『ふみことステキな仲間たち』
〒410-0022　沼津市大岡1556-2　TEL.055-962-2509　FAX.055-951-4855

平成22年9月議会一般質問

「戸田地域活性化センター」

総額15億円　本当にこれでいいんですか！

戸田の民宿を経営している方から、「活性化センターが出来るらしいけど、住民はみんな知らない。1キロ先の山の方にそんなものを持って行ってしまうのか訳がわからん。もっと住民の声を聞いて欲しい。私等は立派な建物を望んでいない。身の丈に合ったものでいい。」というものだった。ある漁業関係者はこういう。「多くの資源に恵まれた伊豆は、ないものを求めるより、あるものを磨くことが大切だ。地域に根ざした自立可能な観光への転換を図るべきだ」と。

そんなもんいらない！身の丈でいい!!

戸田に何度も足を運び、地域の方々と話をしていく中で、実は行政側と地域住民の思いがかけ離れていることに疑問を持ち、今回の一般質問につながる。

この活性化センターは総額15億円。合併時の目的は、戸田の活性化のための施設だったが、その後、地区センター、観光の情報拠点、道の駅、温泉、市民窓口、老人憩の家等、津波の避難場所の確保も含め、全てこのセンターに入れ込んでしまった。

海・・観光の目的から津波の避難所へ・・・⑪

その決定過程を追ってみると、行政と一部の地域代表者（そこには戸田の重要な産業を担う漁業関係者が入っていない）で決定し、その決定が住民の合意形成を経ないまま、センター実施設計のプロポーザル公募が終わった今になって、事情を知った地域の住民が不信の声を上げたのである。

合併時は、戸田の活性化のために観光を目的にした施設を、休業中の国民宿舎周辺（御浜海岸）に建設するということで話が進められた。その方法として民設民営の公募をかけたが、該当者がなく、地域代表者の要望書によってすべての機能を盛り込み、特に津波の避難場所の確保ということから、御浜海岸から、山側に予定地が大きく変更になったのである。

確かに津波の避難地なら海抜の高い山側になるが、戸田の玄関口というなら海である。特に御浜海岸からの富士山は、世界一の景観である。

そもそも避難地と観光地は相反する地形条件になる。15億円もかける壮大な事業である。地域住民の声を集約するにしても、決して不可能な人口規模ではない。

欲しいものと必要なものは違う

戸田の住民はもっと謙虚で慎重である。ある戸田の代表者は「活性化センターは欲しいものである。でも戸田にとっては必要のないもの」「欲しいものと必要なものは違う」と言いきる。

何故そんなに急ぐのもっとみんなの声を聞きましょう

既存の市民窓口・壱の湯温泉・老人憩の家は耐震化の問題があるが、個別に対応すべきもので、行政の都合で一緒にすべきものではない。

活性化センターの目的であった観光による地域の産業振興を図る拠点を御浜の場所を候補地として、国民宿舎の問題も踏まえ、住民本位のあり方を考えながら、再検討すべきである。

その理由

①戸田の人口減少と超高齢化問題。65歳以上の高齢化率が36・6％。3年もすると40％に達するだろう。

②市民窓口が1キロ先に移転し不便になる。

③現在、老人憩の家周辺はスポーツ広場やデイサービスセンターもあり、高齢者関連の機能がまとまっている。

④壱の湯温泉が600㍍山側に上がり不便になる。

このように、すべての施設が移転して、既存のコミュニティと生活習慣が大きく変わることは、高齢化に向かう戸田住民にとって良い事には思えない。

企画部長「この計画は地元からの要望や検討委員会での意見を踏まえて検討したので、一日も早い施設整備に努めたい。」

市長「活性化センターをつくっても、戸田が活性化するなんて甘い考えは持っていない。色々あると思うが、皆さんの手作りでつくり上げたという誇りを持って欲しい。」

戸田地区が沼津市に合併する際の約束事項の一つである「戸田地域活性化センター」は平成23年度から2ヵ年事業で建設。

本当にこれでいいんですか！

21年度土地取得事業特別会計

大幅な見込み違い　50％下落

沼津駅周辺総合整備事業（鉄道高架化を含む）

Q1これまでに駅周辺総合整備基金で買いあげた土地は？

A1基金を活用して取得した土地は143億7千万円

Q2 21年度末の保有している土地は？

A2 124億3千万円

Q3取得した土地は現在、どのくらい下がっているか？

A3およそ50％下落していると思う。

62億円の損?!

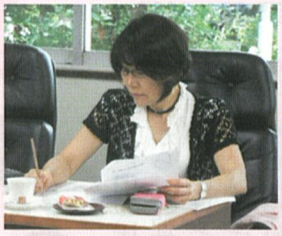
駅周辺総合整備基金で取得した土地124億円は、既に62億円を超える含み損。貴重な市民の税金を積み立てた基金が事実上目減りし、さらに固定資産税が入らない上、維持管理費が発生する。

今まで、この特別会計で取得した土地価格が実勢価格では大きく下落していることが明らかになった。市民の財産に損失を与えている現実が私の質問で明白になる。

ふみこの 活動日誌

7月

30日・1日　事業仕分け実施自治体へ視察
習志野市・我孫子市・草加市・藤沢市・小田原市

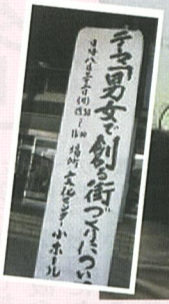


9日　「学校給食を考える会」勉強会
14日　東京から元国会議員・大学教授・ジャーナリストを招いての会派勉強会
25日　山下ふみこの市政報告会
暑い最中、足を運んでくださった皆様に、大きな勇気をいただきました。感謝します。

31日　香貫山ゴミ拾い・明治大学へ研修会

8月

2日　全国政策研究会静岡実行委員会の企画会議 in 静岡
18日　議員勉強会・全国政策研究会静岡実行委員会の企画会議
22日　長野県下諏訪町「男女で創る街づくり」シンポジウム



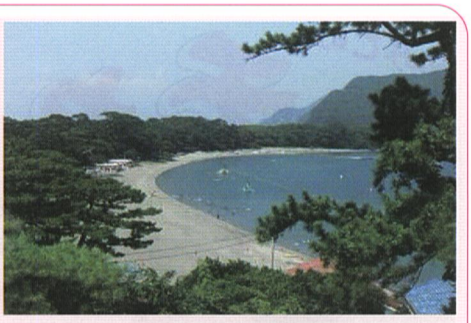
28・29日　事業仕分け見学・全国政策研究会実行委員参加

事業仕分け見学
予想に反して、市民判定人の意識の高さに驚く事業仕分け。

全国政策研究会実行委員参加
全国の市民派議員と市民による政策研究会が静岡で行われ、実行委員として『学校給食』の分科会を担当。沼津の学校給食も変えられるか?!

9月

13日　戸田へ調査
絶景!!!
戸田御浜海岸



16～19日　議会
17日　一般質問通告
19日　香貫山ゴミ拾い
ゴミ拾いの後のひと時

26日　千本公園ゴミ拾い
27日　保育園で紙芝居
28・29日　議会一般質問
30日　総務経済委員会

10月

4日　保育園で紙芝居

4・5・6日
一般会計予算決算委員会
8・12・13日
特別会計予算決算委員会
19日　議会最終日・総務経済委員会
22日　静岡県庁へ資料調査
28日　行政経営セミナーへ日本教育会館

ふみこの おすすめ書籍

沼津のまちは、これまでハコものを中心として市政が進められ、そのために、市民の生活に直接関わる医療・福祉の充実、下水道の普及などが財政面で後回しにされてきました。
ハコもののうち鉄道高架事業がこのまま進められたとしたら、まちの将来は、財政的に大変なことになるというメッセージと、市政そのものを軌道修正させたいと、この本を出版しました。
このようなかたちで出版することは、正直、一個人が何故ここまでしなければいけないのかなど、迷いやためらいがありましたが、沼津のまちが好きだ！、このまちを大切にしていきたい！という思いが、迷いやためらいより強かったのです。
（中山さんより）

故郷沼津、再生へのメッセージ

著者・中山康之
発売元：静岡新聞社
1000 円

ふみこの 市政報告会

日時　：**12月11日（土）13：30～15：00**
場所　：健康福祉プラザ**「サンウェルぬまづ」**２階大会議室
ゲスト：**鈴木令子**さん
（株）恵風　「心と体にやさしい自然食品店」代表

「食は安らぎの原点」そんなテーマで、
料理をしない私も皆さん一緒にトークしたいと思います。

私の報告：「沼津市の台所事情」
先行取得した土地が 130 億円以上。
既に実勢価格は半分以下になっています。
本当に大丈夫？？？
税収入が落ちて、その穴埋めを借金でしている現実を話します。

あなたの声を聞かせて♪ なんでもあり本音トーク

日時　：**12月17日（金）19：00～20：30**
場所　：**東部パレット**３階
主催　：大好き塾

皆さんの声を聞きます。
私たちの税金の行方、本当に知らなくていいんですか？

今回の通信は市民活動支援のためステキな仲間と一緒に作りました。印刷には環境に配慮した、大豆インクを使っています。